



## Peace Winds Japan

エルデネットホッタイルレポート（5～7月）

在籍している子ども

男の子		女の子	
Erdenebat	14 歳	Siilegmaa	13 歳
Bayarsaihan	14 歳	Zolzaya	11 歳
Otgonbaatar	11 歳	Tumendelger	12 歳
Tomursuh	13 歳	Gantsetseg	9 歳
Munhsaihan	9 歳	Ganchimeg	7 歳
Gansaihan	6 歳	Javhlan	6 歳

5 月上旬、エルデネットホッタイルのマネージャー、Ms.Dolgor、ボランティアの Mr.Altankhyag、Ms.Amarjagal はホッタイルを退職し、新たに Mr.Tsogoo がマネージャーとして Mr.Gerelt-Od、Ms.Gerel の二名がボランティアとして参加しました。



## *Peace Winds Japan*

### 活動

- ・ 5～7月ホッTAILの3名の新しいスタッフはPWJのホッTAILの職務規定に基づいて働き、ホッTAILの仕事に次第に慣れてきました。
- ・ ホッTAILのボランティアたちは子どもたちにノンフォーマル補習授業を5月25日まで教えました。その後子どもたちは夏季休暇に入りました。
- ・ 5月18日にエルデネト子ども会議が開かれ、ホッTAILのマネージャーやボランティアが積極的に参加しました。会議では子どもたちのための機関が直面している問題やその解決策などについて参加者がそれぞれの経験を共有しあいました。会議開催中、参加者たちはエルデネトホッTAILを訪問しました。
- ・ 5月19日子どもたちは7×5メートルのホッTAILの畑を耕しました。野菜を栽培する予定です。
- ・ 6月1日子どもの日をお祝いしました。子どもたちはスタッフからプレゼントをもらい、エルデネト市内をみんなで散歩しました。
- ・ 6月6日PWJの支援者がエルデネトホッTAILを訪問し、子どもたちはミニコンサートを開きました。
- ・ 6月10日子どもたちはサマーキャンプに行く準備(大掃除など)をしました。そして14日ウランバートルに向けて出発しました。
- ・ 6月15日子どもたちはサマーキャンプに到着しました。サマーキャンプはPWJが毎年開催しているものでウランバートルの郊外30kmにあるガチュールトで、エルデ



## *Peace Winds Japan*

ネットホッタイルの子どもたちおよびウランバートルの2棟のホッタイルの子どもたちが共に夏キャンプで過ごすというものです。今回は全員合わせて48人の子どもたちが一緒に過ごします。キャンプでは新鮮な空気のもと、野菜の栽培や家畜の世話など、ストリートチルドレンが都市の生活では経験できないものを教えることにあります。

5つのゲルに滞在し、1つのゲルは教室として設営されています。子どもたちは家畜から取れる新鮮な乳製品をキャンプで食べることができますが、これは子どもたちの健康にとってとてもいいことです。

- ・ サマーキャンプでは常にエルデネットホッタイルのスタッフとウランバートルホッタイルのスタッフがローテーションを組んで泊り込んで子どもたちの指導を行っています。
- ・ 6月15～22日は次のような活動を行いました。屋外用のカウンターと机の製作、家畜の小屋のフェンス製作、羊から毛の採取、卓球台とバスケットボールのポール設置、焚き木集めなどを行いました。
- ・ 6月26日にサマーキャンプの開会式を行い、子どもたちはコンサートをしました。
- ・ 6月27日、マネージャーのオユンチメグは生野菜サラダの作り方を子どもたちに教えました。
- ・ 6月はキャンプで「誰が日本のことを一番よく知っているか?」「モンゴル相撲トーナメント」などのイベントを行い、子どもたちは積極的に参加しました。
- ・ 7月5日ハイキングに出かけました。



## *Peace Winds Japan*

- 3人の子どもたちが順番で家畜の世話をしました。家畜の世話の上手な子どもに、エルデネトホツタイルの Gansaihan と Erdenebat が選ばれました。
- 7月11日、モンゴルの国民の祭日ナーダムをお祝いしました。ナーダムの期間、子どもたちはモンゴル相撲、競争、ダンスの競争をして、優秀者にはプレゼントが贈られました。エルデネトホツタイルの女の子 Siilegma はサマーキャンプの働き者として表彰されました。
- サマーキャンプの畑が3つの区画に分けられ、子どもたちは3日おきのローテーションでじゃがいも畑で働きました。
- マネージャーのミヤグマルサイハンは子どもたちに乳製品とメインディッシュの作り方を教えました。
- 7月23日子どもたちは野菜の栽培、サラダの作り方について講習を受けました。
- セイブザチルドレン UK (NGO) が主催するモンゴル相撲コンテストにエルデネトホツタイルの Erdenebat が参加しました。



## *Peace Winds Japan*

### 子どもたちの健康状態

5月、子どもたちの健康はおおむね良好でした。しかし4人の子どもたちがインフルエンザに罹りました。また Munkhsaihan は耳の調子がよくありませんでした。歯科医が歯科検診を行い、12人のうち7人が治療を受けました。また2人の子どもたちがワクチンを受けました。

6月に性感染症に罹っている子どもたちはウランバートル子ども病院で治療を受けました。サマーキャンプの間は、子どもたちは乳製品をたっぷり摂り、また泳ぎ、毎朝ランニングをするなど健康的な生活を送りました。

7月、Otgonbayar は目の病気で治療を受けました。Zolzaya のせきも治療されました。他の子どもたちの健康状態は良好でした。



## *Peace Winds Japan*

### 子どもたちのトレーニング

エルデネットの子ども 12 名のうち、5 名が中学校に通学しており、2 名が幼稚園、5 名がノンフォーマル教育学校の授業を受けています。中学校は 6 月 10 日に、幼稚園は 6 月 2 日に、ノンフォーマル教育学校は 5 月 25 日に学期が修了しました。

Otgonbaatar は優秀な成績で学期を終え、他の子どもたちも進級できました。またボランティアたちはホッタイルで独自に読み書きの授業を子どもたちに行っています。

6 月 23 日モンゴルの NGO「10 代の子どもたちと未来」から 3 人の講師を招いて、サマーキャンプでディスカッションやアドバイスなどのセミナーを実施しました。

ディスカッションのテーマは

なぜ子どもたちがストリートに出てしまうのか？またストリートの生活が子どもたちの健康や知能の発達にどのような影響をもたらすか？

性感染症はどのような病気か？

もしストリートチルドレンがホッタイルでの生活の利点、ホッタイルを出てストリートに戻った場合にどのような生活が待っているか。

このディスカッションにはサマーキャンプの年長の男の子、女の子が参加しました。